



平成 22 年 7 月 22 日

各位

日本電産 株式会社
学校法人 東海大学

東海大学ル・マンプロジェクトのアジアンシリーズ参戦と 日本電産によるメインスポンサーとしての支援決定について

東海大学工学部動力機械工学科「ル・マンプロジェクト」(以下、「東海大学ル・マンプロジェクト」)は、今年 11 月に中国 広東省 珠海で開催される「ル・マン アジアンシリーズ」に参戦することが決まりました。

また、日本電産株式会社(以下、日本電産)は、本レースにおける「東海大学ル・マンプロジェクト」のメインスポンサーとして、支援することを決定いたしましたので、お知らせします。

東海大学工学部動力機械工学科では、東海大学総合科学技術研究所 林義正教授(非常勤)の指導の下、2001 年から「ル・マンプロジェクト」として、レーシングエンジン及びレーシングカーの開発に取り組んできました。2008 年には大学チームとして初めてル・マン 24 時間耐久レースに参戦、翌 2009 年には日本(岡山国際サーキット)で開催されたアジアンシリーズにも参戦を果たしています。この度、中国(珠海国際サーキット、珠海国際賽車場、Zhuhai International Circuit)におけるアジアンシリーズ開催が決定されたことを受け、これに参戦することといたしました。このレースは、世界転戦する Intercontinental Le Mans Cup (ILMC) の一戦となっており、欧米の強豪チームも参戦する、非常に注目度の高いレースです。

日本電産は、「“真のものづくり”を目指し、課題突破力のある人間性豊かな学生を育成する」という「東海大学ル・マンプロジェクト」の理念に共感し、これをバックアップするためにメインスポンサーとして支援します。

また「東海大学ル・マンプロジェクト」では、2011 年度のル・マン本戦に、ハイブリッド車での参戦を計画しています。日本電産では現在、HDD 用モータに次ぐ大きな成長の柱に育てるべく、自動車分野における新たなモータ需要の取り込みに注力しているところであり、このル・マン本戦への参戦に向け、東海大学とともにレーシングカーに搭載するハイブリッド車用モータの開発・研究に取り組んでいく予定です。

■アジアン ル・マンシリーズ概要

会 場 : 珠海国際サーキット (中華人民共和国広東省珠海市)
開 催 日 : 2010 年 11 月 5 日～7 日
主 催 者 : AUTOMOBILE CLUB DE L'OUEST
(ACO/フランス西部自動車クラブ)
走 行 距 離 : 1,000km (予定)
レース位置付け : インターコンチネンタル・ル・マンカップ 第三戦

■参戦車両

車 両 名 : TOP03
エ ン ジ ン : YR40T (株式会社ワイ・ジー・ケー製)
シャシー : LC70 (COURAGE 社製)

【参戦車両 イメージ図】



(車体デザインは今後変更する予定です。)

【日本電産株式会社】

設 立 : 1973年7月23日
本社所在地 : 京都市南区久世殿城町338番地
代 表 者 : 代表取締役社長 永守 重信
資 本 金 : 665億5,122万790円(2010年3月末現在)
売 上 (連 結) : 5,874億59百万円(2010年3月期)
従業員数(連結) : 96,482名(2010年3月末現在)
事 業 内 容 : 精密小型モータ、中型モータ、機器装置、
電子・光学部品、その他の製造・販売

＜この件に関するお問い合わせ＞
日本電産株式会社 広報宣伝部長 田村 徳雄
TEL 075-935-6150 (ダイヤルイン)

【学校法人東海大学】

本 部 : 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4
代 表 者 : 理事長・総長 松前 達郎 [まつまえ たつろう]
東海大学所在地 : 神奈川県平塚市北金目4-1-1
学 長 : 高野 二郎 [たかの じろう]

＜この件に関するお問い合わせ＞
学校法人東海大学 広報部広報課 担当：小栗・岡部
TEL.03-3467-2211 (代表) FAX.03-3485-4939
東海大学工学部動力機械工学科「ル・マンプロジェクト」
担当教員：森山裕幸
E-mail : leman@ml.tokai-u.jp